

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： Plexin 経路制御による神経障害性疼痛治療開発
2. 研究代表者： 藤井 敬之（九州大学 大学院医学研究院 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、神経障害性疼痛の発症に関わると考えられるセマフォリン／プレキシン経路を標的とした新規鎮痛薬の開発を目指す。フェーズ 1 では、マクロファージとセマフォリンをターゲットにし、神経障害性疼痛とセマフォリンの関連を明らかにし、着実な成果を上げた。フェーズ 2 では研究計画からセマフォリン阻害薬の創薬への発展性が期待できる一方、さらに広い視野で痛みのメカニズムを解明することを期待する。今後の研究進捗により、破壊的イノベーションが生まれる成果に繋がる可能性に期待する。

以上